

石高神社

第十四号

発行日 平成八年十二月十五日

発行者 石高神社 宮司 高原 章兆

発行所 岡山市円山八五三 石高神社

全末社・遥拝所案内

石高神社には八つの末社と五つの遥拝所があります。

遥拝所は、その神社まで行かなくても石高神社の境内から拝むことができるようにしてある場所です。以前一社ずつ紹介したことがありますが、ご要望もありましたので今回全部まとめてみました。なお、拝殿西の木野山神社から右まわりの順番に紹介しました。○印は末社、☆印は遥拝所を表しています。

修理計画について

石高神社では、社殿を始めとして多くの建造物の老朽化が著しく進んでおり、修理を必要とする箇所がたくさんあります。その中には急いで取りかかった方がよいものもあります。今年度は通常会計の中から、倒壊した灯籠の修繕および天満宮の傾きの応急修理を行いました。

前回平成五年には、氏子の皆様のご助力により、末社稲荷神社の屋根の銅板葺きを中心に修理を行うことができました。その後も引き続き次の修理について総代会で協議を重ねてまいりましたが、次回は土塀と表門東側の灯籠の傾きの修復、および便所の設置におおむね決まりました。

土塀は割れたり傾いたりしている所があり、瓦も割れてなくなっています。放置すればやがて倒壊しますので、残せる所は残して修理する方向で検討しています。便所は管理面の問題もありますが、参拝者の方々が今まで不自由されてきましたので、何らかの方法で設置したいと計画しております。

○木野山神社 高梁市にある木野山神社をお祀りしています。流行病・精神病に関しての特別な信仰があります。

☆王子山神社 嶽の山の上にある王子宮のことで、仁徳天皇をお祀りしています。嶽の町内で春と秋のお祭りを行っています。

○垂壺社 石高神社代々の宮司の御霊を祀っています。

○天満宮 菅原道真を祀る太宰府天満宮をお祀りしています。学問の神様として有名です。

☆天御中主神 (あめのみなかぬしのかみ) 日本根源の神様ですが、地上に降りられたことがないので、神社には祀られていません。天の中心的存在

を意味するので御本殿の北側の真ん中にあります。北辰の思想と一致して北極星や北斗七星を祀る信仰も加わっているのかもしれない。

☆本社 石高神社を御本殿の北側から拝むことができます。

○金磨石宮 「かなまろさま」とよばれている性の神様で昔から多くの本に紹介されています。

陽物もたくさん奉納されています。

○稲荷神社 一切の食料をつかさどる倉

稲魂神（うがのみたまのかみ）を主神としてお祀りしています。

○荒神社 一口では言い表せない神社

で、広範囲にわたる産土神・火の神としての性格を持っています。

☆伊勢神宮 皇室の祖神であり、天上天下をあまねく照らす最高の太陽神・天照大御神をお祀りしています。三重県伊勢市に鎮座。

○金柵稲荷 沢田恩徳寺境内にある金柵

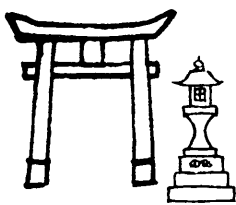
稲荷（きんすけいなり）をお祀りしています。

○堅巖宮 沢田の恩徳寺にある堅巖稲

荷（たていしいなり）をお祀りしています。

☆道通宮 沖元の

沖田神社境内にある道通宮のこと
で、四番のどうつうさんとして親
しまれています。



年頭行事のご案内

一月一日午前零時より歳旦祭の祝詞奏上の後、午前一時前まで参拝者の方々の新年祈禱を行います。また、午前九時ごろから新年祈禱・厄払い等の各種ご祈禱を行います。

一月十五日には午前十時ごろより古札焼却祭およびとんど祭を行います。

二月一日は厄払いの日です。厄年に当たる方はこの日または正月休み・一月の休祭日にお参りください。

立ち木の手入れ

にっついてのお願い

昔は境内の山にもマツタケ、ジイタケ、クロカワなどのキノコが生えていました。また、隨身門からは沖新田方面がよく見えて風光明媚な場所として知られていました。今は松の木が枯れて、代って雑木が生えています。その上、最近山の手入れをしていないので伸び放題になっています。自然林として残しておいた方が良くあります。自然林として残している所がたくさんありますので、この冬の間に剪定・伐採を行うことを計画しております。

つきましては、氏子の皆様方の作業奉仕のご協力をお願いしたく存じます。詳細につきましては、別にご依頼致しますので、その節はよろしくお願い申し上げます。